

## 第 69 回愛鳥週間

平成 27 年度 野生生物保護功勞者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人日本鳥類保護連盟 総裁賞

都道府県名	氏 名	功績概要
京都府	<small>なかむら けいこ</small> 中村 桂子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全国野鳥密猟対策連絡会（以下、密対連）が発足した平成4年より、事務局長を担い、密猟問題解決に尽力した。事務局長として活動して20年間、およそ年1回の割合で平成5年よりシンポジウムを各地で開催し、各回とも環境省、自治体、県警本部の出席を得た。開催ごとに報告書を作成し、密猟問題の解決のため共有すべき情報をまとめた。その成果物は密猟問題解決のための捜査等に役立った。</li> <li>2. 平成4年、6年、9年にはワシントン条約会議のオブザーバーとして参加し、世界各国のNGOと情報交換に努めた。</li> <li>3. 平成11年には「メジロ鳴き合わせ会」の立ち入り検査に同行し現在も続行、種の識別鑑定に尽力。年間10万羽に及ぶ野鳥の輸入（内メジロ4万羽）を廃止すべく中国を訪問、直接政府の担当者に要望し実現した。また、この年HPに「密猟110番」を開設し、警察庁との連携がより保てるようになり、更なる密猟の取り締まりが強化された。</li> <li>4. 全国の小鳥店の野鳥販売調査を実施し、実態の把握に努めた。</li> <li>5. 活動の中で環境省と共に、「メジロ・ウグイス・ホオジロ・オオルリ・キビタキ・オオタカ等の野鳥の種の識別マニュアル」、「世界のメジロ図譜」、「密猟対策マニュアル」、「密猟事例&amp;かんたんわかる鳥獣保護法」などを作成し、関係機関による違法行為摘発に効果を上げ鳥獣保護に大きく貢献した。</li> <li>6. 普及啓発活動では、建設省が開催する河川管理部会に出席し、河川法改正に係る意見や、河川整備とNGOの役割について話した。また、京都府の複数の小学校（愛鳥モデル校を含む）で、総合的な学習の時間の指導にも当たっている。市民に対して鳥獣保護や救護の問題についても解りやすい内容の講座を開催するなど現在も継続的に開催し、普及啓発活動に尽力している。</li> </ol>

2.環境大臣賞（6件）

都道府県名	氏名	功績概要
神奈川県	ひぐち ひろよし 樋口 広芳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.人工衛星を利用してツル類やハクチョウ類の渡りについて、ロシア、中国、北朝鮮、米国などと共同研究をし、生物学分野と社会科学を応用した研究成果を発表した。</li> <li>2.渡り鳥の生態について局地的な移動、生息環境や食物資源の利用実態を明らかにしながら後進の指導にも尽力した。</li> <li>3.アホウドリとアカガシラカラスバトの保護増殖検討会では経験を踏まえた有益な助言で多大なる貢献をした。</li> </ol>
三重県	たかはし まつと 高橋 松人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.出生地の長野県をはじめ、北海道、岩手県等各地の野鳥研究・保護について貴重な資料を蓄積し普及に尽力した。</li> <li>2.昭和48年より日本野鳥の会三重に入会し、探鳥会の講師として野鳥保護思想の普及に努めた。県の委託を受けて難しい傷病鳥獣の治療・救護飼養に尽力した。</li> <li>3.環境庁委託の標識調査を行い貴重な資料提供や、県のレッドデータブックに関わる調査・執筆で貢献した。</li> </ol>
愛知県	おかざきしりつ 岡崎市立 かわい ちゅうがっこう 河合中学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.学区からホタルが消えてしまう危機感から、昭和41年より保護活動を開始した。「河合の自然を守る」をテーマにふ化幼虫を採取し観察小屋で育てている。またカワニナのみを増殖する手法を模索しながら日々努力している。</li> <li>2.全校生徒の活動へと広げ、ホタルはビオトープに放している。川の水生生物の調査から水環境の重要性がわかり、地域を含め里山環境の回復活動への意識が高まった。</li> </ol>
宮城県	にほんがん 日本雁を ほご かい 保護する会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.ガン類の渡りの経路を調査した「ガン類渡来目録」の作成に尽力した。生息地復元と農業との共存を「ふゆみずたんぼ」として提唱・普及を行い多大なる貢献をした。</li> <li>2.仙台市八木山動物公園と協働して、シジュウカラガンの羽数回復のための計画策定と実践を行った。また、平成7年～22年に千島列島エカルマ島において動物園で繁殖した個体を13回、551羽を放鳥するなど尽力した。</li> </ol>
宮城県	せんだいし 仙台市 やぎや まどうぶつこうえん 八木山動物公園	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.昭和57年、日本で初めてハワイガンの繁殖を、平成元年にはニホンイヌワシ、ノスリの繁殖にも成功した。</li> <li>2.日本雁を保護する会と協働して、シジュウカラガンの羽数回復のための計画策定と実践を行った。また、平成7年～22年に千島列島エカルマ島において当動物園で繁殖した個体を13回、551羽を放鳥するなどに尽力した。</li> </ol>
山梨県	こうえきざいだんほうじん 公益財団法人 ほりうちこうあんかい 堀内浩庵会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.山中湖周辺において環境省、山梨県、山中湖村、山中湖中学校等の協力を得て、「愛鳥のつどい」（2014年で29回目）を開催し、愛鳥思想の定着に多大なる貢献をしている。</li> <li>2.巣箱設置については、山中湖中学校の生徒が作り、設置費用の助成をしている。1986年から計2590ヶ所に設置し、愛鳥思想の普及を図っている。</li> <li>3.野鳥が食べる実のなる木（ナナカマド、ガマズミ等）を1994年から計1690本を植樹し、環境保全に努めている。</li> </ol>

3.文部科学大臣奨励賞（2件）

都道府県名	氏 名	功績概要
群馬県	なんもくそんりつ <b>南牧村立</b> なんもくしょうがっこう <b>南牧小学校</b>	1.昭和43年より巣箱作りと巣箱架けを行い、総合的な学習の時間では、単元を特設して第3学年が周辺の野鳥観察を、第5・6学年では野鳥の紹介を行っている。 2.全校で自然や文化を一人1点ポストカードに記入している。第3・4学年は野鳥を描き道の駅に置いて観光客に持って行ってもらうなど地域へ貢献をしている。 3.野鳥の声の放送や、写真掲示、朝礼での野鳥についての講話など、愛鳥教育の充実を図っている。
東京都	むさしのしりつ <b>武蔵野市立</b> いのかしらしょうがっこう <b>井之頭小学校</b>	1.愛鳥モデル校として長年、児童・保護者・地域の方々とともに年間8～9回の探鳥会を実施している。学区内の井の頭恩賜公園では観察活動に「トリとり鳥ピンゴ」を取り入れ意欲的な活動ができるように工夫している。 2.愛鳥環境委員会が鳥の紹介やピオトープの環境保全活動を行っている。また、全校に向けて愛鳥・環境保全に関する発表を行い、啓蒙活動に努めている。 3.武蔵野自然塾と連携し、生物多様性の保全・在来種と外来種の関係などについて、学年に応じた体験的学習を意欲的に進めている。

4. 林野庁長官感謝状（3件）

都道府県	受賞者	功績概要
埼玉県	かわじまちょうりつ <b>川島町立</b>  でまるしょうがっこう <b>出丸小学校</b>	1. 「三ツ又沼ビオトープ」の整備後、『ハンノキプロジェクト』が実施された。出丸小学校は発足当初から第5・6学年が13年以上にわたって参加し環境保全への意識の向上に努めている。 2. ハンノキは県の蝶であるミドリシジミが卵を産み付けるため、児童は11年間に100本以上の植林を行っている。また、ハンノキの種子を採取し育て、1～2年後にその苗をビオトープに再移植している。郷土の自然を守り育てることのできる児童を育成している。
愛知県	おかざきしりつ <b>岡崎市立</b>  みあいしょうがっこう <b>美合小学校</b>	1. 昭和62年にホタル飼育のためのホタル舎を設置し、第4学年による人工飼育を行っている。全校の場で飼育活動の報告と環境保護の大切さを伝えて卵の幼虫やふ化について理解を深めることができた。 2. 山綱川の清掃や周辺の植樹を行い環境保全に努めた。 3. 山綱川の水質調査やカワニナ調査を実施し、カワニナの餌について研究して丈夫に育てるための数種の餌を与えるなど熱心に研究を続けている。
神奈川県	おおやまちく <b>大山地区</b>  ゆうがいちょうじゅう <b>有害鳥獣</b>  たいさくきょうぎかい <b>対策協議会</b>	1. ツキノワグマと人間との共存には「保護」と「人身被害の防止」の両立が重要であると考え、ヤブの刈払い等を展開し組織的な活動を行った。人里出没を最小限に抑えたりするなど多大なる貢献を果たしている。 2. 特に平成26年度には12日間で延べ373名がヤブの刈払いに参加した。大量出没に対しては全25回、延べ391名、計828本の動物駆逐用煙火を使用して追払い活動を継続的に行ったことにより、人間とツキノワグマの棲み分け、共存できる環境づくりを推進した。 3. 市と県が共同して行っているツキノワグマ等、野生生物出没調査に協力している。

5. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長賞（3件）

都道府県名	氏名	功績概要
茨城県	<small>かなざわ まちこ</small> 金澤 まち子	1. カモ類の飛来時期に週3～4回、それ以外の季節に週1～2回土浦市内の蓮田を見回り、防鳥ネットに羅網している野鳥（主に水鳥）を年間300羽以上、11年間にわたり救護した。また、オオタカなどの猛禽類についても、11年間で30羽以上救護した。 2. 羅網事故の防止について耕作者に訴えるとともに、防鳥ネットの適正管理の協力を呼びかけるなど積極的に活動し貢献している。
新潟県	<small>なかやま まさのり</small> 中山 正則	1. 40年以上にわたり鳥獣の生息調査を行い鳥獣保護行政の推進に貢献をした。狩猟免許更新講習会の講師や鳥類観察会の講師を務め、多数の小学校を始め、多くの方々へ知識を広めるなど多大なる貢献をした。 2. 県自然環境保全地域設定にあたり事前調査及び協力をした。環境保全や鳥類保護のために努力した。 3. 信濃川中流域の鳥類の継続的調査を行い、多くの冊子編集や執筆をした。「小千谷の鳥類目録」を著述し、鳥類生態状況を明らかにするなど尽力した。
熊本県	<small>にしむら まこと</small> 西村 誠	1. ラムサール条約登録湿地荒尾干潟の自然について講話を行い、干潟の保全や環境意識の向上に尽力した。 2. 定年後、荒尾干潟やシギ、チドリ等の写真を記録し、写真を通じて荒尾干潟の保全や野鳥保護の普及啓発活動を行い、市民の関心を高めるために貢献した。 3. 写真は案内板、「環境フェスタ」の写真展、市のHP等で紹介され、環境保全活動に貢献した。

6.環境省自然環境局長賞（6件）

都道府県名	氏名	功績概要
千葉県	かねさか ひろし 金坂 裕	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.1979年の動物病院開業以来36間傷病鳥獣の治療や保護飼養などに献身的に取り組み、野生生物保護に貢献した。</li> <li>2.県の傷病救護事業の指定獣医師として毎年100件もの救護をし、県民への鳥獣保護思想の普及啓発に尽力した。</li> <li>3.豊富な症例を基にHPや専門書の執筆を通じて、獣医師や保護ボランティアに向けて技術の普及に貢献した。</li> </ol>
新潟県	いとう やすお 伊藤 泰夫	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.にいがた野鳥の会の役員として35年間、野鳥保護思想の普及や啓発を行い、地元の小学校の愛鳥教育を指導し、環境省や県に協力し講師を務めるなど多大に貢献した。</li> <li>2.新潟市海岸林における環境変化と鳥類相の調査研究の学術論文を大学と共同で取り組み公表した。また、15年間春秋2回ツタ刈りを行い環境保全に尽力した。</li> </ol>
奈良県	かわせ ひろし 川瀬 浩	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.奈良野鳥の会の設立当初から鳥類の保護活動に取り組み奈良県の鳥「コマドリ」の緊急生息調査を行い野生生物保護活動に多大な貢献をした。</li> <li>2.奈良支部の「竹・とり・クラブ」において放置竹林の伐採で里山の改善に取り組み貢献している。</li> <li>3.県と連携して「春日山原始林を未来につなぐ会」や「春日山原始林市民連絡会」において陣頭指揮を執り、春日山原始林の保全活動に努めている。</li> </ol>
東京都	ふっさしりつ 福生市立 ふっさだいごしょうがっこう 福生第五小学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.昭和47年から愛鳥モデル校の指定を受けて現在もNPO法人自然環境アカデミーの支援を受けながら総合的な学習の時間や生活科で継続して活動をしている。</li> <li>2.全校での観察会では、多摩川のごみ拾いも行っている。第4～6学年ではスーパー愛鳥博士テストの合格者が各学年の観察アドバイザーになり愛鳥意識向上に努力している。第6学年は巣箱作りなどで野鳥保護への関心を高めている。</li> <li>3.児童は自然の変化に感動するなど、日常生活の中でも自然環境を受け入れる姿勢があり意識の向上が見られる。</li> </ol>
富山県	とやましりつ 富山市立 いけだしょうがっこう 池多小学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.県が愛鳥週間に実施しているツバメ調査に毎年参加し、ツバメの実態を知ることによって愛鳥教育に活かしている。</li> <li>2.田尻池での白鳥探検隊を継続的に行い、田尻池の白鳥やカモを紹介するパンフレットの作成及び広報活動を行っている。清掃活動も行い白鳥保護に多大なる貢献をした。</li> <li>3.校区を流れる鍛冶川の水質や生き物調査を行い、それらを基にした学習を実践し調査の成果が十分に得られた。</li> <li>4.活動は県内の愛鳥保護の普及啓発のモデルとなった。</li> </ol>

兵庫県

あまがさき しりつ  
尼崎市立

せいぶんしょうがっこう  
成文小学校

1. 愛鳥活動は平成4年より生活科・総合的な学習の時間を活用し継続している。市と連携し児童は「こどもエコクラブ」に所属して活動した。平成16年から学校ビオトープをつくり野鳥観察を中心に意欲的に活動をしている。
2. 第2学年の国語の授業の「ツバメ」の学習を基に新聞を作成し、その情報からツバメ観察を継続して行っている。
3. 現在は地域と連携してビオトープの管理や観察を継続している。26年度は、小中連携の一環として中学校から講師を招き、野鳥について共に活動する時間を設けている。



7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状及び会長感謝状

公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（14件）

個人（8名）

都道府県名	氏名
群馬県	さいとう つぎ え 齋藤 次江
埼玉県	いしくる ひるゆき 石黒 博之
石川県	よねぐち きわむ 米口 究
静岡県	むらた せいさく 村田 清作
滋賀県	すずき としゆき 鈴木 敏之
和歌山県	いながき きよはる 稲垣 清春
福岡県	とみなが あつひろ 富永 淳宏
福岡県	なかやま かずや 中山 和也

学校（6校）

都道府県名	学校名
岩手県	もりおかしりつじょうとうちゅうがっこう 盛岡市立城東中学校
千葉県	いんざいしりつもとのだいにしょうがっこう 印西市立本埜第二小学校
神奈川県	こうみょうがくえんさがみはらこうとうがっこう 光明学園相模原高等学校
京都府	かめおかしりつたかだちゅうがっこう 亀岡市立高田中学校
鹿児島県	そおしりつたからべみなみしょうがっこう 曾於市立財部南小学校
鹿児島県	ちょうりつしらおがわしょうがっこう さつま町立白男川小学校

公益財団法人日本鳥類保護連盟会長感謝状（2件）

都道府県名	団体名
長野県	しんしゅうやちょう かい 信州野鳥の会
静岡県	だいにちじちかい 大日自治会

8. 環境省自然環境局長感謝状  
鳥獣保護員等（51件）

都道府県	氏名	都道府県	氏名
北海道	わたなべ よしお 渡辺 義雄	新潟県	すみや れいじ 角屋 禮士
北海道	やまだ りょういち 山田 良一	新潟県	まつかわ よしお 松川 善男
北海道	てらやま こうじ 寺山 広司	新潟県	いけだ ふみお 池田 文夫
北海道	せきぐち まさき 関口 正毅	新潟県	よしだ そうえい 吉田 惣栄
北海道	くぼうち ふくよし 窪内 福良	石川県	まえの かずよし 前野 和良
北海道	おくむら あきお 奥村 昭夫	福井県	ささき まさお 佐々木 正夫
北海道	やまざき かずお 山崎 和雄	福井県	もりおか かずお 森岡 和男
青森県	おおさわ ひろし 大沢 博	福井県	うちだ あきかず 内田 明和
青森県	ちば じん 千葉 忍	山口県	すぎもと こうどう 杉本 孝道
青森県	だいぼう こうしろう 大坊 幸志郎	山口県	うちだ ひろし 内田 博
岩手県	たかはし かつよし 高橋 勝義	滋賀県	まるはし よしお 丸橋 嘉雄
岩手県	ちば なごみ 千葉 和	京都府	はた やすとし 畑 育利
山形県	こんの よしひろ 今野 義博	香川県	かじ きよつぐ 加地 清健
埼玉県	おおもり たかお 大森 隆男	香川県	まつもと しげさく 松本 繁作
埼玉県	はしくち やすろう 橋口 保郎	香川県	いりたに まさき 入谷 眞樹
埼玉県	ひるま しげお 晝間 茂夫	長崎県	かわもと ゆたか 川本 浩
埼玉県	こばやし ひろし 小林 弘	長崎県	うまた かつよし 馬田 勝義
千葉県	あんどう きんや 安藤 欣也	長崎県	とみの そうし 富野 壯志
千葉県	さかまき たかお 坂巻 孝夫	長崎県	しょうじ みきお 庄司 幹雄
千葉県	しいな きよし 椎名 清	福岡県	おおつか はるみつ 大塚 春光
千葉県	やまだ しょういち 山田 正一	宮崎県	たにくち ひろのり 谷口 博教
千葉県	さとう としお 佐藤 敏雄	鹿児島県	やすだ ふみひと 安田 文仁
東京都	まえだ としはる 前田 敏治	鹿児島県	やまくお すえとう 山口 未・
新潟県	おかざき あきら 岡崎 昭	鹿児島県	みやわき けんたろう 宮脇 健太郎
新潟県	たけべ かつゆき 竹部 勝之	沖縄県	いとがず たずこ 糸数 多寿子
新潟県	くずわた きよし ・綿 清		